

平成29年6月30日

株式会社 山陰合同銀行

寄贈型私募債「地域おこし型」と「スポーツ振興型」の取扱開始について

株式会社山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）では、平成29年7月より、私募債の新品として、小・中学校等の教育機関に物品等を寄贈する従来の教育機関寄贈型私募債に加えて、①島根県、鳥取県の公的機関と連携して山陰の地域課題解決に取り組むNPO団体等に活動資金を寄贈する「地域おこし型」と、②地域のスポーツチームに活動資金を寄贈する「スポーツ振興型」の2商品を追加いたします。

私募債発行時に発行金額の0.2%（1億円であれば20万円）を活動資金として、発行企業が指定する該当先に、当行と発行企業が連名で寄贈します。

当行は、金融商品を通じて地域に社会貢献できる商品をご提供することで、発行企業と共に地方創生の一翼を担ってまいります。

※私募債は、一定の財務基準を満たす優良な企業が、その信用力を背景に発行するものです。

発行企業は、長期固定金利の資金を調達できるだけでなく、財務の健全性やCSR活動の取り組み等をアピールすることができます。

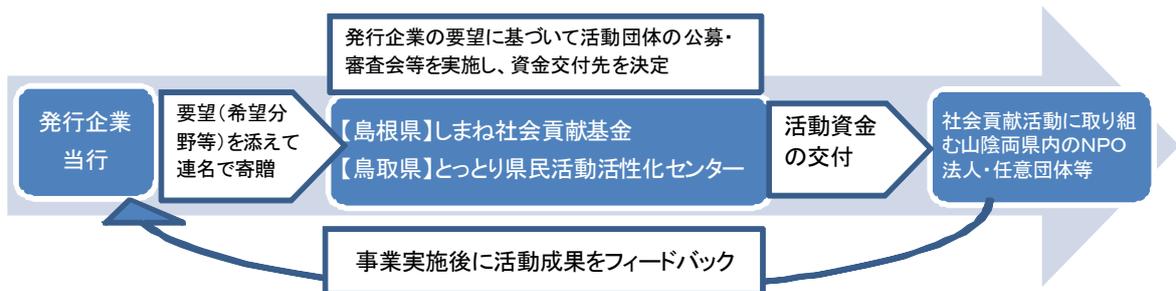
記

1. 銀行保証付私募債寄贈型（地域おこし型）の仕組み

山陰両県の行政が運営・管理する下記いずれかの公的機関へ、発行企業が希望する地域貢献分野（環境保全、子育てや社会教育の推進等の10テーマを準備）等の要望を添えて連名で活動資金を寄贈します。

受贈した両県の公的機関は、公募・審査会等を経て地域の課題解決に取り組むNPO団体等を選定し、資金を交付します。

地域おこし型の寄贈先		
島根県	しまね社会貢献基金	島根県環境生活部NPO推進室が運営・管理する基金
鳥取県	公財) とっとり県民活動活性化センター	鳥取県及び鳥取県内各市町村により共同で設立された組織



2. 銀行保証付私募債寄贈型（スポーツ振興型）の仕組み

当行営業エリアを本拠地とするスポーツチームで、一定の活動実績を持ち、当行が認める先へ連名で活動資金を寄贈します。



3. 従来の銀行保証付私募債「教育機関寄贈型」の仕組み <ご参考>

私募債発行時に発行金額の0.2%以内（1億円であれば20万円以内）の物品（子どもたちの学びや健やかな成長に役立つスポーツ用品や楽器など）を発行企業が指定する当行営業エリア内の小・中学校等の教育機関に連名で寄贈します。



寄贈品の一例 【地元産品も選定可】	対応する私募債発行金額	備考 【発行金額の0.2%以内】
小・中学校向け図書 折りたたみ椅子 楽器 サッカーボール 地球儀 デジタルカメラ 顕微鏡	5千万円	10万円以内
イベント用ワンタッチテント 空気清浄機 テレビ パソコン タブレット ビデオカメラ プロジェクター 跳び箱 卓球台 ストリートバスケットゴール 天体望遠鏡	1億円	20万円以内
朝礼台 移動式ミストファン	2億円	40万円以内

4. 当行が取扱う私募債8商品と特長

銀行保証付私募債	主な特長
プレミアム型	企業の財務健全性、なかでも企業規模(純資産額)をより重視する私募債。(H20年10月～)
CSR型	企業の財務健全性に加えて、企業が行う「CSR活動」を評価する私募債。(H18年1月～)
エコ型	CSR型私募債の基準に加えて、環境にかかる公的認証を取得していることを条件とする私募債。(H20年10月～)
グロース型	企業の財務健全性に加えて、企業の成長力(売上高および利益の伸長率)を評価する私募債。(H18年1月～)
寄贈型(3種類) (教育機関寄贈型) (地域おこし型) (スポーツ振興型)	<p>企業の財務健全性に加えて、教育機関、地域おこし団体、地域スポーツチーム等に寄贈を行う社会貢献度の高い私募債。 私募債発行金額の0.2%以内で当行が費用負担し、発行企業と連名で寄贈します。</p> <p>【教育機関寄贈型】 教育機関で使用する図書やスポーツ用品、備品などを教育機関に寄贈します。(H27年10月～)</p> <p>新設【地域おこし型】 山陰の当行指定公的機関を通じ、山陰の地域課題解決に取り組むNPO団体等に活動資金を寄贈します。(H29年7月～)</p> <p>新設【スポーツ振興型】 当行営業エリア内を本拠地とするスポーツチームで、一定の活動実績を持ち、当行が認める先に活動資金を寄贈します。(H29年7月～)</p>
信用保証協会共同保証付私募債	協会が定める適債基準に適合する先に対して、協会と共同して(協会8割当行2割)保証する私募債。(H12年9月～)

以上